

リニア工事現地を視察 住民の声聞く 本村議員 愛知県委調査で



党愛知県委員会は、28日、リニア新幹線の現地調査を行い、本村伸子衆院議員も参加しました。一行は工事が始まった名城非常口工事現場(名古屋市中区)を調査し、西区の沿線住民とも懇談しました。わしの恵子県議、青木ともこ、西山あさみ、柴田民雄の各市議、須山初美県常任委員らが参加しました。

党愛知県委員会は、28日、リニア新幹線の現地調査を行い、本村伸子衆院議員も参加しました。一行は工事が始まった名城非常口工事現場(名古屋市中区)を調査し、西区の沿線住民とも懇談しました。わしの恵子県議、青木ともこ、西山あさみ、柴田民雄の各市議、須山初美県常任委員らが参加しました。

古屋市中区)を調査し、西区の沿線住民とも懇談しました。わしの恵子県議、青木ともこ、西山あさみ、柴田民雄の各市議、須山初美県常任委員らが参加しました。

党愛知県委員会は、28日、リニア新幹線の現地調査を行い、本村伸子衆院議員も参加しました。一行は工事が始まった名城非常口工事現場(名古屋市中区)を調査し、西区の沿線住民とも懇談しました。わしの恵子県議、青木ともこ、西山あさみ、柴田民雄の各市議、須山初美県常任委員らが参加しました。

党愛知県委員会は、28日、リニア新幹線の現地調査を行い、本村伸子衆院議員も参加しました。一行は工事が始まった名城非常口工事現場(名古屋市中区)を調査し、西区の沿線住民とも懇談しました。わしの恵子県議、青木ともこ、西山あさみ、柴田民雄の各市議、須山初美県常任委員らが参加しました。

雇用促進住宅を民間にまとめ売り 入居者を守るのか不安の声 島津議員が懇談会



島津議員は、厚労省から聞き取った最新の状況を交えて、国の新方針の説明を住民の声を聞きまし

島津幸広衆院議員は28日、愛知県大府市で「雇用促進住宅の存続を求める会」の学習・懇談会に参加しました。懇談会には久永和枝大府市議、辻井タカ子東海市議らも参加しました。雇用促進住宅について国や「高齢・障害・求職者雇用支援機構」(以下、機構)は、全国の住宅を東西2ブロックに分け、民間業者に一括売却することを5月末に公示、9月29日から10月5日が入札書提出期間となっています。

契約条件で入居者は10年間、現状のまま住み続けられるといいますが、売却後も国が責任をもつて監督できるのかといった不安があります。住民からは、「耐震工事はどこが責任を持つのか」「コミュニティの消失が心配」「エレベーター、スロープ、障害者用の大きな扉を付けてほしい」「10年たった後の

保障はどうなるか」など、不安や要望が出されました。島津議員は「入居者が安心して住み続けられるよう、力を合わせて取り組みます」と述べました。これに先立ち、20日には四日市市で存続を求める会の会合が開かれ、萩原量吉元県議や島津議員秘書も参加し、住民の要望を聞きました。

貧困者バッシング(非難・攻撃)に抗議する集会、辺野古のケーソンをつくらせない申し入れ 本村議員が参加

本村伸子衆院議員は28日、名古屋駅前で行われた貧困者へのバッシング=非難・攻撃に抗議する集会に参加し、「国会議員のやるべきことは、貧困をなくすことに力を尽くすことだ」とスピーチしました。

また、26日、名護市沖の米軍辺野古基地建設のために海底に沈めるケーソンが、三重県津市の工場で製造されることに反対する「辺野古のケーソンをつくらせない三重県民の会」の申し入れ行動に参加し、横浜市のJFEエンジニアリング横浜本社を訪れました。

